

昔から「文化の華の咲いたところ」といわれた東金市には、数多くの文人墨客を引き寄せてきた歴史があります。市民の間にも文化活動が根つき、生活にゆとりや喜びを生み出してきました。現在は東金文化会館を拠点として、多彩な活動が繰り広げられています。

一人ひとりのときめき発信

東金の文化を育んだ土壌を振り返ってみると、数々の文人や文学作品と出会うことができます。近代の東金文人には、「二宮尊徳」「虫の楽隊」など唱歌の作詞家として活躍し、詩集

『全言唱歌（明治35年）』を出版した桑田春風（しんぷう）（1935）がいます。また、農民歌人として著名な小幡重雄（おぼたしげ）（1903～1972）は

『下作無情（昭和21年）』『小作の掌（昭和45年）』などの歌集を出版し、東金短歌会の指導も行いました。



第1回芸能発表会
The First Presentation of Culture and the Arts
公民館講座で学んだ成果を発表。観客は座布団持参で集まりました。

東金市では、戦後間もない昭和25年に文化協会が発足し、昭和46年には文化団体協議会が結成されています。市民にとって、日ごろの成果を発表する貴重な場となってきたのは、文化展や芸能発表会です。これらは市制発足とともに始まったものの一時中断され、昭和53年の中央公民館オープンを機に再スタート。改めて第1

回文化展として盛大に開催されました。芸能発表会は昭和54年から実施され、今では11月に文化展と合わせて開催されています。

昭和62年に東金文化会館が開館すると、市民の文化活動の拠点となったのはもちろん、周辺地域の多くの住民にも、音楽、演劇、芸能などの観賞の場として、また文化活動の発表の場として利用されてきました。東金文化会館は、年間およそ350件の利用があり、コンサート、展示会、講演会、学校行事など幅広い催しが行われています。

また、家徳にある日本刺繍の紅会



上：刺繍屏風『能扇面』（昭和46年作）
Embroidered folding screen "Noh-senmen"

下：紅会の工房
Studio for Kurenaikai
豊かな自然とふれあうなかで技術と感性を磨き、見事な作品をつくり出します。



開催当初の文化展 The first cultural exhibit
11月上旬に行われ、毎年多くの作品が出展されました。



文化芸能大会
Presentation of culture and the arts
伝統芸能や躍動的なダンスなどが東金文化会館の舞台上で披露されます。



文化展 Cultural exhibit
11月上旬、東金アリーナの広い会場が、書道、手芸、絵画、写真、短歌、俳句、陶芸、華道など、市民の作品で埋めつくされます。

は、プロをめざす若者を育てるとともに、全国で教室や展示会を開催しています。アメリカにも拠点を置くなど、伝統文化を国内外にまで広めています。

市では、市民が自主的に行うさまざまな文化活動を支援し、文化・芸術に関する情報を提供しています。これにより、多くの市民が文化活動に興味を持ち、そこから市民の交流が深まるようつとめています。

市民の豊かな能力や経験を活かし、互いに学び合うことができるよう、人材を紹介できるシステムを充実させます。市民の手で創造された文化を積極的に発信しています。



東金文化会館 Togane Bunka Kaikan
最新の設備を備えた多目的ホールは、文化都市を創造する拠点となっています。

Cultural activities for the people of Togane

Togane, which has long been known as "the place where the flower of culture blossoms", has attracted numerous writers and artists during its history. Average citizens as well have a deep involvement with cultural activities, which help to bring joy and relaxation to people's daily lives. Today there is a wealth of cultural activities in the city, especially at the Togane Culture Center.